

中・四国矯正歯科学会雑誌投稿規定

(2018年5月30日改定)

1. 投稿は原則として本会会員に限る。ただし、編集委員会がとくに投稿を依頼したものは、その限りでない。
2. 投稿論文は他誌に未発表のものに限る。
3. 原稿は原則として和文とし、A4判用紙に常用漢字、現代かな遣いを用い、できるだけ簡潔に記述する（35字×25行程度）。本文下端中央に通しページを入れる。句点には「.」読点には「、」を使用し「。」「、」は使用しない。
4. 論文には表紙をつけ、表題（対訳英文をつける）、著者名（ローマ字表記をつける）、キーワード（5語以内、原著論文には、日本語および欧語のキーワードを記載する）、ランニングタイトル（欄外タイトル、40字以内）、所属（正式名称を用いる。必要であれば指導者名も付記）、連絡先、別刷希望数を記入する。
5. 原著論文には、本文の前に650字以内の和文抄録および220語以内の英文Abstractをつける。臨床、調査・統計、クリニカルヒント、その他には650字以内の和文抄録をつける。
6. 学術用語は各学会用語委員会選定のものを用い、和訳しにくい用語以外は日本語で表記する。数字はアラビア数字、計量単位は原則として「国際単位系（SI）の単位記号」に準じる。
7. 文献は、引用順に並べて一連番号をつけ、本文末にまとめる。本文中の引用箇所に肩番号をつける。雑誌の略誌名は、日本自然科学学術雑誌総覧、Index Medicusに準じ、欧文誌の場合省略ピリオドはつけない（Orthodontic Waves-Japanese Edition の「投稿の手引き」の付録を参考にされたい）。著者名は、著者が4名以下のときは全員、5名以上のときは初めの3名までを書き、あとは「他」または「et al.」と省略する。
文献の書き方は、
 - 1) 雑誌は、著者：表題、誌名 卷：引用した最初のページ～最後のページ、西暦年。
例：藤田恒太郎：人における歯数の異常、口病歯 25: 97-106, 1958.
Biörk, S.: Cranial base development, Am J Orthod 41: 198-225, 1995.
 - 2) 単行本は、著者：表題、版、発行地、西暦年、発行所、引用した最初のページ～最後のページ。
例：高橋新次郎：新編歯科矯正学、京都・東京、1960、永末書店、62-65.
Graber, T.M.: Orthodontics, principles and practice, 2nd ed., Philadelphia, London, 1967, W.B. Sanders Co., 112-124.
 - 3) 分担執筆の単行本は、著者（引用部分）：表題（引用部分）；編集者 書名、版、発行地、西暦年、発行所、引用した最初のページ～最後のページ。
例：本橋康助、青木敦子：咬合斜面板；榎恵監修 歯科矯正学、東京、1974、医歯薬出版、375-383.
 - 4) 叢書は、著者：書名（叢書名、巻数）、版、発行地、西暦年、発行所、引用した最初のページ～最後のページ。
例：滝本和男：矯正歯科（歯科技工全書）、第1回改訂、東京、1967、医歯薬出版、73-79.
 - 5) 原著を閲覧できない場合には、実際に引用した文献とともに書く。著者：表題、誌名 卷：引用した最初のページ～最後のページ、西暦年。；著者：表題、誌名 卷：引用した最初のページ～最後のページ、西暦年。から引用。
例：Korkhaus, G.: Die Häufigkeit der Orthodontischen Anomalien in Verschiedenen Lebensaltern, Dtsch Mschr2 ahnheik 45: 508-524, 1975 cited from Taatz, H.: Kieferorthopädische Prophylaxe und Frühbehandlung, Leipzig, 1976, Johann Ambrosius Barth.
 - 6) 学会発表抄録は原則として引用文献として認めない。特に必要な場合は、表題のあとに（抄）をつける。
 - 7) 投稿中の論文を引用する場合は、著者：表題、誌名 卷、西暦年（投稿中）。
 - 8) Webサイト上の資料については、情報の追加、変更、削除が行われる可能性があることから引用はできるだけ避ける。やむを得ない場合は、著者名：Webサイトの標題名、Webサイトの名称、閲覧日付、URLを記載する。
例：厚生労働省、患者誤認事故防止方策に関する検討会報告書、2018.5.30. http://www1.mhlw.go.jp/houdou/1105/h0512-2_10.html
 9. 表・図（写真を含む）は、A4判用紙を用いて1枚ずつ作成し、表または図ごとに通し番号（表1、表2…）（図1、図2…）をつけ、本文末にまとめる。表・図の挿入箇所は本文欄外に朱書きする。
 10. 原稿は表紙、抄録、本文、文献、表・図、表・図の説明の順に整え、4部を同封する。原稿の送り先は編集委員長宛（ホームページに記載）とする。
 11. 上記投稿規程に沿わない原稿は受け付けない。投稿論文の受け付けは2月末日までとし、投稿論文に10日以内に受付通知を発送する。

12. 投稿論文の内容について編集委員会で審議し、その採否を決定する。受理論文には受理証を発行し、掲載巻号を通知する。掲載は原則として論文種別に受付順とし、受付日を印刷する。
13. 論文掲載料は無料、ただし図表のカラー印刷料は全額著者負担とする。別刷は50部まで無料とし、それ以上は著者負担とする。学会の依頼による論文の掲載料は全て無料とし、別刷50部を贈呈する。
14. 掲載原稿の著作権は、本学会に帰属するものとする。
15. 投稿論文は、ヒトを対象とする場合はヘルシンキ宣言を遵守する。また、患者の顔面写真を掲載する場合は、同意文書を添付しなければならない。
16. 論文投稿の際は、COI（利益相反）の有無を明記する。
17. ヒトを対象とする場合は、ヘルシンキ宣言に従い、倫理委員会で承認を得た旨と承認番号を記載する。

投 稿 票

中・四国矯正歯科学会雑誌

*受付日	年月日	*審議結果	受保否
*修正受付日	年月日	*掲載	第卷号

*欄は記入不要

論文種別： 原著 臨床 調査・統計 クリニカルヒント その他

表題			
著者名			
責任著者	氏名		
	住所	〒	
	所属		
	電話	FAX	
	メールアドレス		

原稿枚数（表題、文献を含む）_____枚 合計 _____枚
 図（写真を含む）_____枚 別冊希望部数 _____部
 表 _____枚

貴稿が中・四国矯正歯科学会雑誌投稿規定に沿ったものであるか確認されて、左欄にチェックして下さい。

著者チェック

編集委員会チェック

- 論文はA4判用紙に常用漢字、現代かな遣いで簡潔に書かれていますか。
- 句読点には「.」「,」を使用していますか。
- キーワードは5語以内で記載してありますか。原著論文には欧語キーワードも記載してありますか。
- ランニングタイトルは40字以内で記載してありますか。
- 文献は所定の書き方で、引用順となっていますか。
- 表・図はA4判用紙を用いて1枚ずつ作成し、通し番号がつけてありますか。
- 図、表および脚注の挿入箇所は本文欄外に朱書きしてありますか。
- 各図、表1枚ごとに著者名が記入してありますか。
- 原稿は、表紙、抄録、本文、文献、表、図、表・図の説明文の順に綴じてありますか。本文の緒言の一枚目を第1ページとして文献まで通しページを記してありますか。
- 原著論文には、英文Abstractを投稿規程に準じて添付してありますか。
- 原稿は4部ありますか。
- 患者の顔面写真を掲載する場合、同意文章を添付してありますか。
- 図および表のカラー印刷を希望しますか。カラー図版費は著者負担です。

患者様の資料に関する確認

中・四国矯正歯科学会編集委員会

投稿論文に患者の顔写真を掲載する場合は、本用紙も提出して下さい。

論文掲載に際し、患者情報使用に関する確認

口頭、もしくは書面にて、患者の同意は得ていますか？

はい

いいえ

患 者 様	氏 名	
	性 別	
	生 年 月 日	
	住 所	
	電 話 番 号	
患者様と同意者 と の 関 係		
診 療 機 関 名		

年 月 日

著 者 名 :

(印)

所 属 :